

エコアクション21

環境経営レポート

2021年度試行運用版（運用期間：2021年6月～8月）



発行日：2021年9月28日

 **ALL HANDS** 株式会社オールハンズ

目次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	1
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営計画に基づき実施した取組	6
7. 環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画	10
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	12
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	13

1. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社オールハンズ
代表者氏名 代表取締役 西田 亨
- 2) 所在地 本社 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津1-17-5
- 3) 環境管理責任者
取締役 西田 純
連絡先 TEL 092-409-7342 FAX 092-623-1087
Eメールアドレス j-nishida@a-hamds.com
- 4) 事業の内容 DM発送代行 流通加工 物流サービス
URL <https://www.a-hands.com/>
- 5) 事業の規模
総売上高 96百万円 (2021年2月期)
従業員数 5人
- 6) 事業年度 2021年3月～2022年2月

2. 認証・登録の対象範囲

- 1) 対象事業所 本社
- 2) 対象活動 DM発送代行 流通加工 物流サービス
- 3) 対象外組織・活動 なし

全組織・全活動及びその全従業員を対象とする

4) 事業内容の紹介



DM発送代行

DMに係る「封入作業」や「宛名印字」もオールハンズにお任せください。
DMの制作もお手伝い致します。



流通加工

封入、封緘、商品のセットアップ、箱詰め、包装等、手作業で行う業務は何でもご相談ください。
また、両面テープ加工も行っております。



物流サービス

キャンペーン商品等の発送、販促品の発送もお任せください。
通販商品も対応致します。

ダイレクトメールは「営業部隊」

セールスレターは新しいクライアントを創出します。

- ・ちょっとした挨拶
- ・セールスレター
- ・パンフレット
- ・正式な書面での提案

事前に1通送る事で、電話をかけたなり、訪問した際の効果が上がります！



機械では出来ない 細かい作業を承ります。

- ・機械では封入できないサンプル等の封入作業
- ・形状の変わった箱への商品セット作業
- ・定番商品とは違う、小ロットの限定商品のセットアップ作業
- ・熨斗掛けや包装
- ・封筒やPOPへの両面テープ貼付け作業

機械では出来ない特殊な作業でお客様の商品の「差別化」に貢献致します。



キャンペーン商品等の発送、 販促品の発送もお任せください！ 通販商品も対応致します。

キャンペーン商品等の発送、販促品の発送もお任せください。
通販商品も対応致します。



佐川急便、ヤマト運輸、日本郵便、西濃運輸等、様々な配送業者様を利用し、商品の大きさ、重さ、内容に合わせて最適な発送方法をご提案致します。

3. 環境経営方針

環境経営理念

株式会社オールハNZはDM発送代行、流通加工、物流サービスを通じて地球環境の保全と地域環境の向上に貢献します。

自主的・継続的に取り組むことで環境負荷削減の重要さを広めていきます。

行動指針（基本方針）

1. 環境理念に基づき次の方針を定め全員参加で取り組みます。
 - ・環境経営方針を全従業員に周知
 - ・環境経営システムの維持、継続的改善
 - ・一般廃棄物の削減、リサイクルの推進
 - ・環境負荷削減商品の提案
 - ・事務用品のグリーン購入
 - ・地域の美化活動
2. 環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
3. 地域の環境補全活動には積極的に参加します。

制定日 2021年6月1日

株式会社オールハNZ
代表取締役 西田 亨

4. 環境経営目標

・環境経営目標は、当社の事業活動を踏まえて、2021年度～2023年度までの中期目標として、以下の「ガソリン使用量の削減」「一般廃棄物排出量の削減」「環境負荷削減商品の提案」の3つを目標に設定しました。

※「二酸化炭素排出量の削減」の目標値は2020年度（ガソリン使用量は2020年6月～8月の3ヶ月を年換算）を基準年としました。

※「廃棄物使用量の削減」の目標値は2021年度（2021年6月～8月実績値465.2kgの3ヶ月を年換算）を基準年としました。各基準年をもとに毎年1%ずつ削減を目指します。

※「環境負荷削減商品の提案」の目標値は、3ヶ月間で1件成約を目標に設定しました。

環境目標	単位	基準年 2020年度		目標				
		2020年6月～ 8月（3ヶ月）	基準年 年間換算	2021年度（1%削減） 試行運用期間 目標			2022年度（2%削減） 2022年3月～ 2023年2月	2023年度（3%削減） 2023年3月～ 2024年2月
				2021年6月～8月 （3ヶ月）	2021年9月～ 2022年2月 （6ヶ月）	年間換算		
1. 二酸化炭素排出量の削減 ガソリン使用量の削減	ℓ リットル	290.20	1160.80	287.30	574.60	1149.19	1137.58	1125.98
環境目標	単位	2020年度		2021年度 基準年			2022年度（1%削減） 2022年3月～ 2023年2月	2023年度（2%削減） 2023年3月～ 2024年2月
		2020年6月～ 8月（3ヶ月）	年間換算	試行運用期間実績		試行運用期間 目標		
				2021年6月～8月 （3ヶ月）	2021年9月～ 2022年2月 （6ヶ月）	基準年 年間換算		
2. 廃棄物排出量の削減 一般廃棄物排出量の削減	kg	—	—	【465.2】	930.4	1860.8	1842.19	1823.58
※2021年度試行運用期間の実績把握により、基準値設定。その基準値をもとに2022年度以降の目標設定を行った								
3. 水使用量の削減	m ³	共同使用のため、把握不可						
環境目標	単位	2020年度		2021年度 基準年			2022年度 2022年3月～ 2023年2月	2023年度 2023年3月～ 2024年2月
		2020年6月～ 8月（3ヶ月）	年間換算	試行運用期間 目標				
				2021年6月～8月 （3ヶ月）	2021年9月～ 2022年2月 （6ヶ月）	基準年 年間換算		
4. 社会貢献活動の推進 環境負荷削減商品の提案	件	—	—	1件	2件	3件	4件	4件

※電力・水は他事業者と共同使用で把握不可のため、数値目標から除外した。ただし、環境経営計画により取り組みは行っている。

※化学物質は使用実績がないため、目標から除外した。

5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①電気使用量の削減	終業時必要の無い機器の電源off	通年
	トイレ使用時のみ点灯	通年
	ブラインドの利用により室温の調整	7月～9月
	空調服の使用	7月～9月
	エアコン設定 夏場25°C	7月～9月
	エアコン設定 冬場20°C	12月～2月
	空調機の定期的な清掃	通年
	事務所LED電球の使用	通年
②ガソリン使用量の削減	エコドライブ運転を心掛ける	通年
	タイヤの空気圧、メンテナンス	通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①一般廃棄物排出量の削減	電子契約導入	通年
	一般廃棄物の分別・計量	通年
	適切なサイズの段ボールを利用（多重包装防止）	通年
	分別回収のお知らせ、表示による分別の徹底	通年
②資源リサイクル率の向上	資源ごみは適切な古紙回収業者で処分する	通年
	生産工程から発生するごみ袋、段ボール再利用	通年
	FAXは可能な限りメールへ変更（ペーパーレス化）	通年

3. 水使用量の削減

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①水使用量の削減	節水の呼びかけ（プレート作成）	通年
	手元バルブ付きシャワーによる水やり	通年
	洗車、花壇の水やりはストッパー付きホース使用	通年

4. グリーン購入の推進

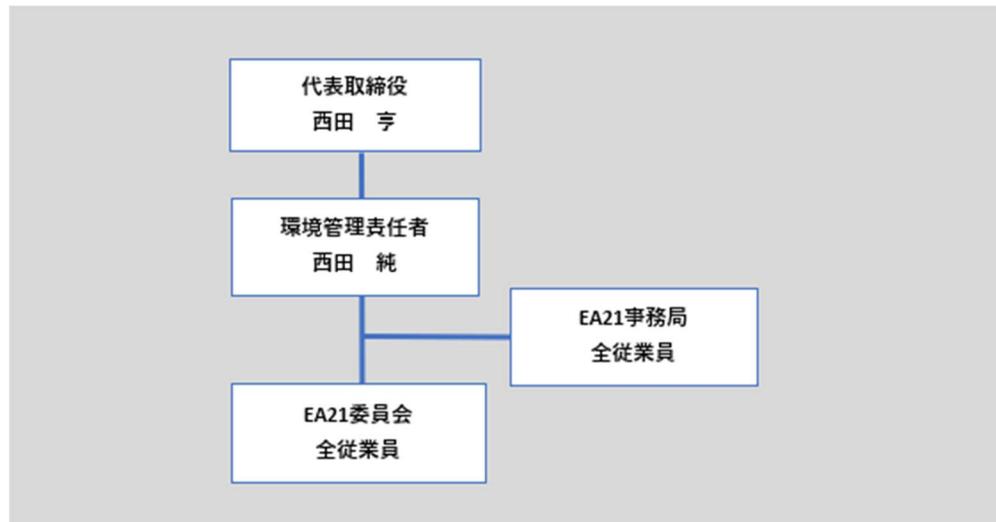
取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①グリーン購入の推進	事務用品、消耗品のグリーン購入、FSC認証紙の購入に努める	通年

5. 社会貢献活動の推進

取組目標	具体的な取組（活動項目）	スケジュール
①社会貢献活動の推進	SDGsの目標を意識し取り組む	通年
	環境負荷削減商品の提案	通年
	一人一花運動による地域美化活動	通年

6. 環境経営計画に基づき実施した取組

1) エコアクション21の実施体制



役割分担

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任
	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価

2) 環境経営計画に基づき実施した取組

電気使用量削減の取組

終業時必要の無い機器の電源o f f
トイレ使用時のみ点灯

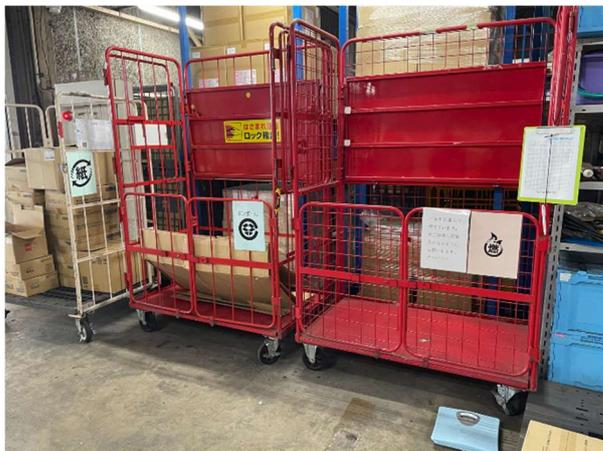


ガソリン使用量削減取組

エコドライブ運転を心掛ける
タイヤの空気圧、メンテナンス

一般廃棄物の削減取組

一般廃棄物の分別・計量
適切なサイズの段ボールを利用（多重包装防止）
分別回収のお知らせ、表示による分別の徹底



資源リサイクル率の向上

資源ごみは適切な古紙回収業者で処分する

生産工程から発生するごみ袋、段ボール再利用



水使用量の削減

節水の呼びかけ（プレート作成）



グリーン購入の推進

事務用品、消耗品のグリーン購入の推進、FSC認証紙の購入



社会貢献活動の推進

SDGs の目標を意識し取り組む

環境負荷削減商品の提案

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

オールハnzのSDGs



環境への取り組み

- 一般廃棄物の分別、減量、資源ごみのリサイクルによるCO2削減に努めます。
- お客様に環境負荷の少ない資材をご提案します。
- グリーン購入の取り組みによる環境負荷低減に努めます。
- 「一人一花運動」に取り組むことにより、緑あふれる豊かな街づくりに貢献します。

社会への取り組み

- 個人のライフスタイルに合わせた無理のない働きかたを提供します。
- 社会と、人と、つながる場を提供します。
- 就労継続支援事業所に業務を委託することにより障がい者支援のお手伝いをしています。

一人一花運動による地域美化活動



7. 環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

- ・2021年度試行運用期間の環境経営目標に設定した「ガソリン使用量の削減」は達成できませんでした。引き続き、「エコドライブ運転を心掛ける」「タイヤの空気圧、メンテナンス」に加え、「車両運転時の急発進・急加速・空吹かし禁止」を徹底に取組を強化していきます。
- ・「環境負荷削減商品の提案」の目標に設定した「環境負荷削減商品の提案の成約件数 1 件」については、見込案件はあるものの、成約に至らず、成約0件となりました。

環境目標	単位	基準年	目標	実績	目標達成率 (%)	目標達成状況
		2020年度	2021年度 (1%削減)			
			試行運用期間 目標			
		2020年6月～8月 (3ヶ月)	2021年6月～8月 (3ヶ月)			
1. 二酸化炭素排出量の削減 ガソリン使用量の削減	ℓ _{リットル}	290.20	287.30	311.98	92.09%	△
環境目標	単位	2020年度	目標	実績	目標達成率 (%)	目標達成状況
			2021年度			
			試行運用期間 目標			
		2020年6月～8月 (3ヶ月)	2021年6月～8月 (3ヶ月)			
4. 社会貢献活動の推進 環境負荷削減商品の提案	件	—	1件	0件	0.00%	×

※目標達成率の計算 $\text{目標} \div \text{実績} \times 100$ (削減目標の場合)

※評価区分◎：目標達成率 $\geq 120\%$ ○： $100\% \leq \text{達成率} < 120\%$ △： $80\% \leq \text{達成率} < 100\%$

×：達成率 $< 80\%$ —：判定不可

※「一般廃棄物の削減」は前年度実績がないため、除外。

(2021年6月～8月の3ヶ月実績値は465.2kg)

※電力・水は他事業者と共同使用で把握不可のため、数値目標から除外した。ただし、環境経営計画により取り組みは行っている。

・2021年度試行運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、概ね良好な結果となっています。今後もこの取組を継続・発展させ、環境経営目標の全項目達成を目指していきます。

※評価 ○概ね実施できた。△実施したが、まだ不十分だった。×実施できなかった。

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目	達成状況	達成手段	実施状況	評価	次年度の計画
①電気使用量の削減	○	終業時必要の無い機器の電源off	○	(現状) ・取組については、全活動項目で概ね適切に実行できた。 (今後) ・ガソリン使用量が目標未達となったため、今後の取組を徹底し目標達成を目指す。	継続して実施
		トイレ使用時のみ点灯	○		
		ブラインドの利用により室温の調整	○		
		空調服の使用	○		
		エアコン設定 夏場25℃	○		
		エアコン設定 冬場20℃	—		
		空調機の定期的な清掃	○		
事務所LED電球の使用	○				
②ガソリン使用量の削減	△	エコドライブ運転を心掛ける	△		
		タイヤの空気圧、メンテナンス	○		

2. 廃棄物排出量の削減

活動項目	達成状況	達成手段	実施状況	評価	次年度の計画
①一般廃棄物排出量の削減	○	電子契約導入	○	(現状) ・これまでできていなかった資源ごみへの取組を強化した。従業員のリサイクル意識も高まった。 (今後) ・今後も取組を継続する。	継続して実施
		一般廃棄物の分別・計量	○		
		適切なサイズの段ボールを利用 (多重包装防止)	○		
		分別回収のお知らせ、表示による分別の徹底	○		
②資源リサイクル率の向上	○	資源ごみは適切な古紙回収業者で処分する	○		
		生産工程から発生するごみ袋、段ボール再利用	○		
		FAXは可能な限りメールへ変更 (ペーパーレス化)	△		

3. 水使用量の削減

活動項目	達成状況	達成手段	実施状況	評価	次年度の計画
①水使用量の削減	○	節水の呼びかけ (プレート作成)	○	(現状) ・取組は適切に実施でき目標も達成出来た。 (今後) ・今後も取組を継続する。	継続して実施
		手元バルブ付きシャワーによる水やり	○		
		洗車、花壇の水やりはストッパー付きホース使用	○		

4. グリーン購入の推進

活動項目	達成状況	達成手段	実施状況	評価	次年度の計画
①グリーン購入の推進	○	事務用品、消耗品のグリーン購入の推進、FSC認証紙の購入	○	〈現状〉 ・取組は適切に実施でき目標も達成出来た。 〈今後〉 ・今後も取組を継続する。	継続して実施

5. 社会貢献活動の推進

活動項目	達成状況	達成手段	実施状況	評価	次年度の計画
①社会貢献活動の推進	△	SDG s の目標を意識し取り組む	△	〈現状〉 ・環境負荷削減商品の提案では見込案件はあるが、成約実績がだせなかった。 〈今後〉 ・今後も取組を継続する。	継続して実施
		環境負荷削減商品の提案	△		
		一人一花運動による地域美化活動	○		

次年度の環境経営目標

次年度の環境経営目標については、前頁の目標を継続致します。（4 p を参照）

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動、サービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2021年度試行運用期間中の事業活動に対して、2021年9月に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、木製パレット等の適正な処理、適正な処理業者との委託契約
福岡市廃棄物の減量及び適正処理当に関する条例	産業廃棄物の適正な処理、適正な処理業者との委託契約
家電リサイクル法	製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引き渡し義務

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

・今回の2021年度試行運用期間終了後に、代表者による取組状況の全体評価と、計画の見直しの必要性を検討しました。結果は、以下のとおりです。

1)取組状況の全体評価

環境経営目標については、試行運用の3カ月ではあまり結果がでていない状況だが、「環境負荷削減商品の提案」は昨今のビジネスでの環境意識の高まりを感じており、必ず結果がでてくると思っている。

環境経営計画への取組については、従業員の協力もあり、順調に活動できていた。今回は、弊社が地域社会の一員として、「環境」のことを考えられる良い機会だったうえ、取組を通じて従業員の自主性が高まったことに強く感銘を受けた。今後も環境負荷低減のための取り組みを継続・強化して良い結果につなげたい。

2)見直しの結果

試行運用を通じて、「使用しなくなった木製パレットのリサイクル処理」の取組項目の追加を検討している。経営面から見るとコスト増につながるので、気づいたこと全てに対応できるものではないが、今後もできる範囲で取り組んでいきたい。